

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2003-30649(P2003-30649A)

【公開日】平成15年1月31日(2003.1.31)

【出願番号】特願2001-218089(P2001-218089)

【国際特許分類第7版】

G 06 T 7/00

G 06 T 1/00

G 06 T 7/60

【F I】

G 06 T 7/00 150

G 06 T 1/00 330 A

G 06 T 7/60 110

【手続補正書】

【提出日】平成16年5月18日(2004.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記憶手段に格納された対象物を含む撮影画像から対象物を検出する画像処理方法であって

、前記記憶手段に格納された対象物を含む撮影画像を読み出し、モルフォロジーのずらし重ね処理によって撮影画像の濃淡を強調するステップと、

強調した撮影画像から特定の対象物が存在するエリアを切り出すステップと、

切り出したエリアの対象物について予め定めた処理を行うステップと

を備えることを特徴とする画像処理方法。

【請求項2】

切り出したエリアの対象物について対象物の数を計数する処理を行うステップをさらに備えることを特徴とする請求項1に記載の画像処理方法。

【請求項3】

前記撮影画像は、背景画像中の対象物の面積が微細な衛星撮影画像または空撮画像であることを特徴とする請求項1または2に記載の画像処理方法。

【請求項4】

記憶手段に格納された対象物を含む撮影画像から対象物を検出する画像処理装置であって

、前記記憶手段に格納された対象物を含む撮影画像を読み出し、モルフォロジーのずらし重ね処理によって撮影画像の濃淡を強調する手段と、

強調した撮影画像から特定の対象物が存在するエリアを切り出す手段と、

切り出したエリアの対象物について予め定めた処理を行う手段と

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項5】

切り出したエリアの対象物について対象物の数を計数する手段をさらに備えることを特徴とする請求項4に記載の画像処理装置。

【請求項6】

前記撮影画像は、背景画像中での対象物の面積が微細な衛星撮影画像または空撮画像であることを特徴とする請求項4または5に記載の画像処理装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明の画像処理方法は、記憶手段に格納された対象物を含む撮影画像から対象物を検出する画像処理方法であって、前記記憶手段に格納された対象物を含む撮影画像を読み出し、モルフォロジーのすらし重ね処理によって撮影画像の濃淡を強調するステップと、強調した撮影画像から特定の対象物が存在するエリアを切り出すステップと、切り出したエリアの対象物について予め定めた処理を行うステップとを備えることを特徴とする。

また、切り出したエリアの対象物について対象物の数を計数する処理を行うステップをさらに備えることを特徴とする。

また、前記撮影画像は、背景画像中での対象物の面積が微細な衛星撮影画像または空撮画像であることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明に係る画像処理装置は、記憶手段に格納された対象物を含む撮影画像から対象物を検出する画像処理装置であって、前記記憶手段に格納された対象物を含む撮影画像を読み出し、モルフォロジーのすらし重ね処理によって撮影画像の濃淡を強調する手段と、強調した撮影画像から特定の対象物が存在するエリアを切り出す手段と、切り出したエリアの対象物について予め定めた処理を行う手段とを備えることを特徴とする。

また、切り出したエリアの対象物について対象物の数を計数する手段をさらに備えることを特徴とする。

また、前記撮影画像は、背景画像中での対象物の面積が微細な衛星撮影画像または空撮画像であることを特徴とする。